おばこく通信

令和７年７月２３日発行

夏の思い出を守るために

交通事故・熱中症 に注意！

お盆や夏休みで交通量が増え、交通事故のリスクが高まる時期となりました。尾花沢国道管内では昨年度、道路附属物（ガードレールやワイヤーロープ等）の損傷事故が１３１発生し、その多くが脇見運転やぼんやり運転によるものでした。

また、熱中症による意識障害や判断力の低下も、事故につながる恐れがあります。体調管理と安全運転を心がけ、この夏を無事故で過ごしましょう。



事故を起こしてしまったら、その場で適切な行動を！

車の事故で車両が道路をふさいでしまうと、後続車との二次的な事故を招いたり、大きな渋滞を引き起こす原因になります。事故を起こしてしまった場合は、安全を確保し、警察に連絡しましょう。また、ガードレールなどの道路附属物を壊してしまった場合は、事故の原因者の方が修理費用を負担することになります。「少しぶつけただけだから」とそのまま立ち去ってしまうと、「当て逃げ」となります。必ず警察に連絡し、適切に対応しましょう。

暑さ指数 WBGT値をチェックして

熱中症予防！

気温 35℃以上 WBGT 31℃以上	危険
気温 31～35℃ WBGT 28～31℃	厳重警戒
気温 28～31℃ WBGT 25～28℃	警戒
気温 24～28℃ WBGT 21～25℃	注意
気温 24℃ WBGT 21℃未満	安全

※WBGTは熱中症の危険度を判断するための指標で、環境省の熱中症予防情報サイトで毎日発表されており、「熱中症警戒アラート」もWBGTが基準になっています。

建設現場での熱中症対策

建設現場でも、熱中症による労働災害を防止するため様々な熱中症対策が行われています。



空調服
上着に電動ファンがついており、外気が取り込まれ涼しく快適にすごせます。



熱中症対策ウォッチ
身体の深部体温の上昇を検知し、熱中症の危険性をアラーム等で知らせます。





飲料の供給
休憩時間以外にも１時間に１回程度水分補給するよう気をつけています。

国土交通省　山形河川国道事務所　尾花沢国道維持出張所
TEL　0237－23－2521　　FAX　0237－23－2523
HPアドレス　http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/obaiji/